

E-ディフェンス、ビーンズドーム 見学会報告

- ・開催日時 平成26年3月14日(金)
12:30~18:30
- ・見学場所 兵庫県三木総合防災公園(兵庫県三木市志染町)
- ・施設概要 E-ディフェンス(実大三次元振動破壊実験施設)
振動台の大きさ 20m×15m
最大搭載荷重 1200t
加振方向 XYZ3方向
最大加速度 ±900Gal
ビーンズドーム(屋内テニス場)
ハードコート9面(国際大会対応。災害時は防災拠点として使われる。)
設計 建築 遠藤秀平建築研究所
構造 デザイン・構造研究所
設備 設備技研 GE設備計画
施工 鹿島・安藤・アイサワ・丸正・平尾特別共同企業体
- ・参加者 26名(内スタッフ6名)
- ・報告

世界最大規模の三次元振動台を有するE-ディフェンス、災害時の防災拠点として実際に東日本大震災で災害支援活動に貢献したビーンズドーム、いずれも阪神淡路大震災をきっかけに整備された施設です。いつ起こってもおかしくない南海トラフ巨大地震などの将来の地震災害に立ち向かう施設として、その役割が期待されます。

バスでの移動時間中、ビーンズドームの屋根緑化のエピソードを熱く語っていただいた大林環境技術研究所の大林社長、予定より随分早着してしまったにもかかわらず、柔軟に対応していただいた兵庫県耐震工学研究センターの方々、大変お世話になりました。

